



## 2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年2月14日

上場会社名 株式会社トランスジェニックグループ  
コード番号 2342 URL <https://transgenic-group.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福永 健司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理財務部長 (氏名) 渡部 一夫

TEL 092-288-8470

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	9,807	0.7	126		162		291	
2024年3月期第3四半期	9,743	15.1	52	65.9	50	86.8	38	

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 304百万円 ( %) 2024年3月期第3四半期 27百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	17.54	
2024年3月期第3四半期	2.27	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	10,446	5,649	53.2	333.94
2024年3月期	9,810	5,998	60.1	355.19

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 5,561百万円 2024年3月期 5,893百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		3.00	3.00
2025年3月期		0.00			
2025年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,500	4.5	110		180		210		12.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1 社 (社名) 東北新和化学株式会社、除外 社 (社名)

(注)詳細は、添付資料8ページ「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料8ページ「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	16,999,141 株	2024年3月期	16,999,141 株
2025年3月期3Q	345,922 株	2024年3月期	405,422 株
2025年3月期3Q	16,626,667 株	2024年3月期3Q	16,865,293 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績見通しのご利用に当たっての注意事項については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要や個人消費の回復基調は見られましたが、円安の進行やエネルギー・原材料価格の高騰が継続しており、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

創薬支援事業につきましては、経営資源集約を通じた更なる事業運営の合理化、競争力・営業力の強化を目的として、2024年10月1日に株式会社新薬リサーチセンターと株式会社安評センターが合併による経営統合を行い、合併後の商号を株式会社トランスジェニックへ変更いたしました。非臨床試験については、中期発がん性試験などの高付加価値な新規サービスの受注は増加いたしました。来期完了予定の試験が多く、強みであるTGR試験

(Transgenic Rodent Gene Mutation Assay)の受注額も想定よりも少なかったことから、売上高は前年同期比で減少いたしました。また、臨床試験につきましても、受注は好調に推移したものの、来期完了予定の試験が多く、売上高は前年同期比で減少いたしました。さらに、遺伝子改変マウス受託作製等のサービスについても、主たる顧客であるアカデミアの研究者に対する国家予算縮小傾向の中で想定通りの受注を獲得することができず、売上高は前年同期比で減少いたしました。このような中で、前期中の完了を予定していた恵庭研究所(北海道恵庭市)の非臨床事業の磐田研究所(静岡県磐田市)への集約作業に当上半期までの期間を要したことで想定以上のコストが発生し、営業損失額も前年同期比で拡大いたしました。

投資・コンサルティング事業につきましては、物価上昇傾向の中で消費者の購買意欲が後退し、Eコマースによる小売販売が苦戦しましたが、2024年4月に連結子会社化した東北新和化学株式会社の売上及び利益貢献があったほか、新規先の開拓や価格転嫁を進めたため前年同期比で増収増益となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、9,807,689千円(前年同期比0.7%増)となり、営業利益につきましては126,211千円の損失(前年同期は52,263千円の営業利益)となりました。経常利益につきましても、為替差益等の営業外収益34,963千円及び買収関連費用等の営業外費用70,835千円を計上した結果、162,083千円の損失(前年同期は50,633千円の経常利益)となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、受取保険金等の特別利益21,940千円、合併した子会社の退職金制度の導入に関わる退職給付費用等の特別損失38,543千円、「法人税、住民税及び事業税」42,773千円、法人税等調整額76,097千円及び非支配株主に帰属する四半期純損失5,892千円を計上した結果、291,664千円の損失(前年同期は38,316千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

#### ① 創薬支援事業

当事業は、創薬の初期段階である探索基礎研究・創薬研究から、非臨床試験、臨床試験まで、創薬のあらゆるステージに対応できるシームレスなサービスをグループで展開しております。

当第3四半期連結累計期間は、上記のとおり、中期発がん性試験の非臨床試験の新規サービスや臨床試験において受注は増加したものの、これらの新規受注した試験は来期以降完了予定のものが多く、当第3四半期連結累計期間の売上高に対する効果は限定的であったことから、前年同期比で減収となりました。このため固定費を回収することができなかったほか、恵庭研究所からの移管作業・設備撤去作業等に想定以上のコストを要したことから、前年同期比で営業損失額も拡大いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は1,224,834千円(前年同期比25.1%減)となり、営業損益につきましては329,683千円の損失(前年同期は109,342千円の損失)となりました。

#### ② 投資・コンサルティング事業

当事業は、M&Aによる新規事業の推進や事業承継等に係る助言・支援サービスを行っております。

当第3四半期連結累計期間は、Eコマースによる小売販売は苦戦しましたが、2024年4月に連結子会社化した東北新和化学株式会社の売上及び利益貢献があったほか、新規先の開拓や価格転嫁を進めたため前年同期比で増収増益となり、売上高営業利益率も前年同期比で改善いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は8,587,601千円(前年同期比5.9%増)となり、営業損益につきましても364,792千円の利益(前年同期比16.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は6,993,928千円となり、前連結会計年度末に比べ444,422千円増加いたしました。これは主に、仕掛品が398,238千円、受取手形、売掛金及び契約資産（電子記録債権を含む）が383,105千円、それぞれ増加した一方、現金及び預金が225,402千円、商品及び製品が92,768千円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は3,452,749千円となり、前連結会計年度末に比べ191,255千円増加いたしました。これは主に、試験設備等の改修、連結の範囲変更を伴う子会社株式の取得等により有形固定資産が114,085千円、無形固定資産（のれんを含む）が99,323千円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,609,866千円となり、前連結会計年度末に比べ1,175,578千円増加いたしました。これは主に、短期借入金が552,000千円、前受金が390,652千円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は1,186,916千円となり前連結会計年度末に比べ191,330千円減少いたしました。これは主に、長期借入金が210,309千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は5,649,893千円となり、前連結会計年度末に比べ348,570千円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失を291,664千円計上し、49,781千円の剰余金の配当を行ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予測につきましては、2024年11月12日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,478,229	2,252,826
受取手形、売掛金及び契約資産	1,342,735	1,297,481
電子記録債権	—	428,359
商品及び製品	1,592,915	1,500,146
仕掛品	507,606	905,844
原材料及び貯蔵品	127,179	102,251
その他	507,679	513,905
貸倒引当金	△6,839	△6,888
流動資産合計	6,549,505	6,993,928
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,082,845	1,072,323
土地	896,676	917,473
その他（純額）	162,689	266,500
有形固定資産合計	2,142,211	2,256,297
無形固定資産		
のれん	512,287	600,219
その他	20,722	32,114
無形固定資産合計	533,010	632,333
投資その他の資産		
投資有価証券	128,593	114,561
その他	472,829	460,547
貸倒引当金	△15,151	△10,990
投資その他の資産合計	586,271	564,118
固定資産合計	3,261,493	3,452,749
資産合計	9,810,999	10,446,677

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	276,141	502,446
未払金	238,718	398,176
短期借入金	448,000	1,000,000
1年内償還予定の社債	14,000	14,000
1年内返済予定の長期借入金	452,733	420,630
未払法人税等	43,908	38,278
前受金	655,548	1,046,201
賞与引当金	71,761	29,899
受注損失引当金	1,661	69
その他	231,815	160,165
流動負債合計	2,434,288	3,609,866
固定負債		
社債	123,000	116,000
長期借入金	1,184,570	974,261
長期末払金	13,526	13,020
退職給付に係る負債	37,644	69,947
その他	19,506	13,687
固定負債合計	1,378,246	1,186,916
負債合計	3,812,535	4,796,783
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	3,861,314	3,857,377
利益剰余金	2,067,097	1,725,651
自己株式	△135,948	△116,016
株主資本合計	5,842,463	5,517,012
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,959	16,550
為替換算調整勘定	25,461	27,636
その他の包括利益累計額合計	51,420	44,187
新株予約権	200	200
非支配株主持分	104,380	88,493
純資産合計	5,998,464	5,649,893
負債純資産合計	9,810,999	10,446,677

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	9,743,005	9,807,689
売上原価	8,079,457	8,099,922
売上総利益	1,663,548	1,707,767
販売費及び一般管理費	1,611,284	1,833,979
営業利益又は営業損失(△)	52,263	△126,211
営業外収益		
受取利息	57	258
為替差益	26,532	20,784
受取保険金	6,430	4,040
保険解約返戻金	10,635	—
貸倒引当金戻入額	—	4,806
その他	5,650	5,074
営業外収益合計	49,305	34,963
営業外費用		
支払利息	35,817	27,182
買収関連費用	—	27,705
手形売却損	5,087	2,455
その他	10,030	13,492
営業外費用合計	50,935	70,835
経常利益又は経常損失(△)	50,633	△162,083
特別利益		
固定資産売却益	53	294
受取保険金	—	21,645
特別利益合計	53	21,940
特別損失		
固定資産売却損	3,110	—
固定資産除却損	873	5,658
退職給付費用	—	32,884
支払解決金	39,470	—
特別損失合計	43,453	38,543
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	7,233	△178,687
法人税、住民税及び事業税	37,129	42,773
法人税等調整額	12,764	76,097
法人税等合計	49,894	118,870
四半期純損失(△)	△42,660	△297,557
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,343	△5,892
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△38,316	△291,664



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純損失(△)	△42,660	△297,557
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,809	△9,409
為替換算調整勘定	3,833	2,175
その他の包括利益合計	15,642	△7,233
四半期包括利益	△27,017	△304,791
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△22,674	△298,898
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,343	△5,892

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間において、株式会社TGビジネスサービスによる株式取得に伴い、東北新和化学株式会社を連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	75,526千円	100,397千円
のれんの償却額	33,422	38,462

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	創業支援事業	投資・コンサル ディング事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,630,949	8,111,606	9,742,555	450	9,743,005
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,500	760	5,260	△5,260	—
計	1,635,449	8,112,366	9,747,816	△4,810	9,743,005
セグメント利益又は損失(△)	△109,342	313,347	204,005	△151,741	52,263

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△152,191千円、各報告セグメントに含まれない収入450千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	創業支援事業	投資・コンサル ディング事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,220,334	8,587,354	9,807,689	—	9,807,689
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,500	246	4,746	△4,746	—
計	1,224,834	8,587,601	9,812,435	△4,746	9,807,689
セグメント利益又は損失(△)	△329,683	364,792	35,109	△161,321	△126,211

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△161,321千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。